

## 武井勲教授のビジネスマンのためのリスク・マネジメント教養講座

### アーネット教養講座 スタート 初回講座

eラーニングシステム開発の株式会社アーネット（本社：東京都町田市、代表取締役社長：岡田安人、以下、アーネット）は、自社開発のP4Web講義収録システムを活用して、ビジネスマンのための教養講座を8月5日より始めました。初回講座はリスク・マネジメントの研究者 武井勲大阪大学招聘教授にお願いしました。

#### I. 初めに

3.11の震災発生後、企業内専門部隊の普段の訓練の賜物で危機管理体制がうまく機能した企業が大きく報道されたり、特別に注目されたが、その後のマスコミの報道は断片的で、ビジネスの場に身を置く者にとって、次のステップに踏み出すには情報量が十分とは言い難い。本講座は第一線で活躍している企業のマネージャークラスの必須常識を自分のペースでPC、iPadで学習して頂く事を趣旨として企画しました。PCは当初数カ月間Windowsのみとさせていただきます。個人受講が原則ですがグループでの受講も歓迎致します。1回の申込で1ヶ月間PC、iPad双方で何回でもご覧いただけます。今後講座数も充実させてゆく予定です。

<http://www.earnet.co.jp> よりご覧ください。

#### II. 武井勲教授のビジネスマンのためのリスク・マネジメント教養講座

Risk Management for Business Persons in 15 Minutes “Let us do ISO 31000 ! “ by Professor Isao Takei

何のため、だれのためにやるの？（ねらいと対象）

どんな効果があるの？（メリット）

1回たった15分、合計15回（3時間45分）でなにをやるの？（構成とテーマ）

毎回

最初の15分で、「1. リスク・マネジメントとは何か」を解説します。

次の15分で、「2. 実際の事例に学ぶーリスク・マネジメントの見地から」、1. の応用編です。

最後の15分は、『3. 英語でQ&A-リスク・マネジメントについて』です。

ステーブ・ドノフリオさんと武井教授がQ&A形式でリスク・マネジメントのポイントを整理していきます。

合計15回を隔週で配信致します。

#### 第1回

1. ISO 31000とは何か
2. 東日本巨大地震(3.11) とリスク・マネジメント
3. What is ISO 31000? Risk management principles and guidelines.

#### 第2回

1. ISO 31000の対象と狙い ステークホルダーのニーズを満たす
2. 農林漁業のリスク・マネジメント
3. What is ISO31000:2009-Principles and Guidelines of Risk Management?

#### 第3回

1. リスク・マネジメント用語と定義
2. 3.11 (東日本大震災) の特徴 - リスク・マネジメントの見地から
3. Why implement ISO31000?

#### 第4回

1. リスク・マネジメントの21原則
2. 建設・不動産のリスク・マネジメント
3. How to implement ISO31000?

#### 第5回

1. リスク・マネジメントの枠組み
2. 製造業のリスク・マネジメント
3. Participation benefits available from implementing ISO 31000,

#### 第6回

1. リスク・マネジメント規定と役職員・従業員全員の誓約
2. 食品産業のリスク・マネジメント,
3. Terminology - Risk, risk treatment. risk owner, context, risk evaluation.

#### 第7回

1. リスク・マネジメントの枠組みの設計
2. 運輸・物流業のリスク・マネジメント
3. Risk Management Process

#### 第8回

1. 自組織と内外とのつながりを理解すること
2. 小売・卸売業のリスク・マネジメント
3. Management Framework

#### 第9回

1. リスク・マネジメント方針を策定する
2. 観光業のリスク・マネジメント
3. COSO vs. ISO 31000

#### 第10回

1. リスク・マネジメントのプロセス
2. 医療・福祉・勤労者のリスク・マネジメント
3. ISO 31000 is not certifiable

#### 第11回

1. リスク評価 リスクの確認 リスク分析 リスクの優先順位付け
2. 教育・文化施設のリスク・マネジメント,
3. The Risk Management Process has five activities

#### 第12回

1. リスク処理
2. 原発事故由来の福島県全体への風評被害のリスク・マネジメント
3. The Risk Management Framework with a Design-Implement-Monitor and Review-Improve cycle, the same as the more traditional Plan-Do-Check-Act cycle

#### 第13回

1. 監視と見直し、リスク・マネジメント・プロセスを報告する
2. リスク・マネジメントで価値創造とその維持ができた事例,
3. 5 excellence criteria and associated measures given in 31000 for the Risk Management Framework

#### 第14回

1. 国際標準 ISO 31000 リスク・マネジメントの特徴
2. 人生はリスクだ (リスク・マネジメントの優劣が人生の品質管理を変える)
3. How to implement ERM (Enterprise-wide Risk Management) based on ISO3100?

#### 第15回

1. リスク・マネジメントの復習と展望
2. 日本政府と地方自治体のリスク・マネジメント
3. Recap on ISO31000:2009-Principles and Guidelines of Risk Management

#### ■武井勲 教授

現在 社団法人実践リスク・マネジメント研究会 (IARM) 理事長  
大阪大学安全衛生管理部招聘教授 (リスク管理)  
“武井勲リスク・マネジメント研究所 [T I I]” 所長

## 原子力損害賠償紛争審査会専門委員

略歴 1944年長野県出身。リスク・マネジメント研究・教育・コンサルタント約40年。MBA  
(1974)

米国保険会社のフェロー;コンチネンタル保険会社(NY)エグゼクティブ・コンサルタント、  
大学教授(保険論、リスク・マネジメント)、米国リスク・マネジャー協会教育顧問(約22年)、  
月刊誌 Risk Management (NY) 編集顧問

現在の主たる活動

- (1) 通信添削講座主宰
- (2) 講演、執筆等

### III. ご参考

#### ■株式会社アーネットについて

2000年設立、資本金1,400万円、従業員15人。大学発ベンチャー企業で、新しいeラーニングシステムを電気通信大学と共同研究・商品化してきました。P4Webに係る特許出願国内4件、海外2件。北大、千葉大、静岡大、福岡大、(独)メディア教育開発センター等、大学中心に納品実績があるほか、企業向けでは全日空、製薬企業、JR系鉄道工事会社新生テクノス株式会社、などにも導入実績がある。

#### ■P4Webシステムについて

電気通信大学とアーネットとの共同研究により開発された、日本発マルチメディア動画コンテンツ自動生成システムです。eラーニングシステムとしてだけでなく、動画配信システムとして幅広く活用できます。パワーポイント、動画、レーザーポインターの軌跡すべてを関連付けて、即時にデジタル・圧縮処理ができるため、通常どおり講義やプレゼンテーションを行うだけで、映像のみならず、文字情報も含んだ情報量豊富な動画コンテンツの作成が簡単にできます。

専用のレーザーポインターによる位置情報の効果も手伝い、訴求力・説得力・教育効果の高い、講師の熱意の伝わるマルチメディア動画コンテンツを実時間で自動生成します。

#### ■P4Web vivid

当社従来製品「P4Webシステム」は、コンテンツ化できる講義資料に制約があった(PowerPoint)。P4Web vividは、講師が使用するPC画面に表示されている全てをキャプチャー化できるので、PC上に表示された内容をそのまま鮮明な教材やコンテンツにすることができ、Word、PDF、Excel、Webなど使用教材もアプリケーションフリー。講義した内容を即時コンテンツ化するので、コンテンツ作成にかかる時間や手間が大幅に削減できる。簡易編集も可能。収録後チャプター単位で画面レイアウトを変更できるので、OCWなどで著作権の問題等より、講義に使ったものの、対外的には発表できないドキュメント部分については、画面構成を選びドキュメントが映らない講師映像とチャプターのみ、或いは講師映像のみの画面構成にするなどで、自然な構成のコンテンツが即生成できる。

高画質低配信負荷ゆえ、詳細図面、各種書式、動画も使われる「技術伝承アーカイブ」として製造現場での技能伝承にも活用できる。画面上の操作の軌跡もキャプチャー化できるので、各種機器の取扱説明の電子マニュアル化などにも活用可能。

## ■第5回日本eラーニング大賞経済産業大臣賞ANAと共同受賞について

全日空整備本部と共同開発し5,500人の航空整備士教育に導入した実績で応募。

応募タイトル:「ANAが集合・個別受講を最適化したブレンディッドラーニングを航空整備士等の訓練に採用」

受賞理由:整備士教育システムに実技とe-Learningによる知識・理解向上を効果的にブレンディングした方法を工夫・実践している。学習者(被訓練者)の訓練・学習履歴データを組織的にうまく管理・活用している。さらに、新たなキャリアパスの創出、教育効果の向上とコスト削減の実現を視野に入れ、経営に貢献している。

現在は4,500人客室乗務員、地上勤務要員と全社で採用の方向にある。

## ■P4Web 優位性

1. 作成されたコンテンツのデータ量は150-200MBで、CD-Rへも4-5時間分収録可能。配信においても300Kbps〜と非常に低帯域での配信が可能。  
HD版でも8Mbps HDがDVDに1時間収録可能
2. レーザーポインターの座標位置取得機能はアーネットオリジナルの開発技術。  
講師が話している箇所が受講者に伝わり、講義講演を理解するうえで大変有効。
3. P4Web vividはノートPCで収録〜編集まで可能で、アタッシュケース或いはリュックに入れて持ち運ぶことが可能で、旅先での学会・講演等にも有効に活用いただけます。
4. ソフトウェアベースですのでお手持ちのPCにインストールして、書斎収録機に。
5. すべて自社開発ですので、お客様単位のご要望も承ります。

## ■本件および本システムに関するお問い合わせ先

株式会社アーネット

住所 194-0013 町田市原町田 2-13-2

担当者 営業部

電話 042-732-5114 FAX 042-732-5118

E-mail p-info@earnet.co.jp